

眞一。

1950年代から70年代にかけての高度経済成長期に於いて、急速な都市化・工業化が進んでおり、自然環境の破壊・汚染が深刻化している。この結果、自然環境の劣化・破壊が、人間の健康・生活に悪影響を及ぼしている。また、自然環境の劣化・破壊は、自然環境の保全・回復のための政策の必要性を認識させることになった。